

資料 2

令和 7 年 2 月 1 7 日開催

市長定例記者会見資料

令和 7 年度に取り組む主な事業について

－ 施策の大綱 －

1. 快適さを支える生活基盤の向上

2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

4. 子育てと子どもの成長を支える環境の充実

5. 市民力・地域力の活性化

6. 行政経営

新規 は、令和7年度から新たに取り組む事業を表します。

充実 は、令和7年度から事業の内容を一部充実させて取り組む事業を表します。

完了 は、令和7年度で完了予定の事業を表します。

1. 快適さを支える生活基盤の向上

～快適に過ごせるまちへ～



- 令和8年度の運用開始に向けた防災情報伝達システムの整備、広域的な災害対応や初動体制の強化に向けた消防指令センターの共同整備など、南海トラフ地震等の大規模自然災害に対する都市の強靱化に向けた取り組みを推進
- 森林環境譲与税を活用した適切な森林管理や、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した森林教育・木育の推進
- ごみ溶融処理施設の長寿命化に取り組むとともに、次期ごみ処理施設の整備に向けた基本構想を策定

防災・減災対策の推進

完了

防災情報伝達システム整備事業 (248,000千円)

令和8年度からのシステム運用開始に向け、災害時に孤立化する恐れの高い地区へのデジタルスピーカーの設置や防災アプリの開発等を進めます。



充実

地震対策・木造住宅補強事業 (33,200千円)

耐震性が低い木造住宅の耐震補強や除却に対する支援を行い、地震等により建物が倒壊するリスクを低減し、安全な住環境の確保につなげます。

自然との共生

充実

みえ森と緑の県民税市町交付金の活用 (16,528千円)

亀山の木材とふれあう機会を創出するとともに、鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動を中心に、源流域を守り地域への愛着を醸成する取り組みを進めます。



森林経営管理事業 (50,200千円)

森林環境譲与税を活用し、森林経営に関する意向調査の結果に基づき、境界明確化や森林調査の実施など、適切な森林管理を進めます。

消防体制の充実・強化

完了

津・鈴鹿・亀山3市消防指令業務共同運用事業 (429,777千円)

広域的な災害対応や初動体制の強化等を図るため、令和8年4月からの運用開始に向け、3市で共同運用する新たな消防指令センターの整備を進めます。



完了

消防庁舎及び関分署自家用発電設備改修事業 (74,600千円)

大規模災害発生時における対応体制の充実・強化を図るため、老朽化した消防庁舎及び関分署の自家用発電設備の改修を行います。

廃棄物処理施設の適正管理

ごみ溶融処理施設大規模整備事業 (135,900千円)

稼働から長期間が経過するごみ溶融処理施設の延命化を図るため、総合環境センター溶融施設長寿命化計画に基づき、主要な設備・機器の更新や改良工事を行います。

新規

次期ごみ処理施設整備基本構想策定事業 (18,115千円)

今後、整備が必要となる次期ごみ処理施設について、施設整備基本構想を策定します。



1. 快適さを支える生活基盤の向上

～快適に過ごせるまちへ～



- 都市拠点の利便性の向上を担う道路ネットワークである市内環状道路等の整備を推進するとともに、将来にわたる持続可能な維持管理体制の構築に向け、道路施設管理の包括的民間委託の手法について調査・研究を実施
- 上水道施設における通信のデジタル化や下水道施設の老朽化対策の推進、ゲリラ豪雨等による浸水被害の軽減に向けた内水浸水想定区域図の作成等、おいしい水の安定供給と生活排水及び雨水排水対策に向けた取り組みを推進

道路の整備と効率的な維持管理

都市計画道路整備事業（和賀白川線）（148,500千円）

本市における産業発展と市民生活の根幹を担う道路ネットワークとなる市道と和賀白川線について、国の社会資本整備総合交付金を活用し、流末水路の用地買収及び道路新設工事を行います。



道路新設改良事業（川合9号線）（120,400千円）



宅地開発等により交通量が増加傾向にある市道川合9号線の全線拡幅に向け、国の社会資本整備総合交付金を活用し、用地買収を行います。

新規

道路施設管理包括的民間委託導入検討事業（15,000千円）

持続可能な道路施設の維持管理体制の構築に向け、国の補助金を活用し、民間事業者の持つ技術・ノウハウ等を活用した包括的民間委託の手法に関する調査・研究を行います。

東海道街道環境整備事業（20,000千円）

関宿東海道、亀山宿東海道において舗装の美装化を実施し、沿道区域の更なる魅力向上を図ります。

水の安定供給・生活排水対策の推進

新規

水道施設専用通信デジタル化事業（79,000千円）

中央監視施設と各水道施設をつなぐ専用通信回線がアナログ回線から光回線に切り替えられることに対応するため、各施設の通信機器を更新し、通信のデジタル化を計画的に進めるとともに、通信の高速化・安定化を図ります。



下水道ストックマネジメント対策事業（87,000千円）

公共下水道施設の老朽化に起因した事故や機能停止等の事態を未然に防止するため、長期的な視点で下水道施設の老朽化の進行状況に応じた対策を講じます。

浸水対策事業（36,100千円）

ゲリラ豪雨等による浸水被害の軽減に向け、内水氾濫による浸水想定範囲や浸水深さ等の情報をまとめた内水浸水想定区域図を作成します。

地域生活交通再編事業（174,809千円）

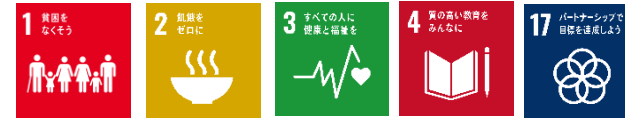
自立した移動手段を持たない人が増加する中、コミュニティバスや乗合タクシー等を運行し、地域の公共交通アクセスを確保します。

また、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向け、市民・交通事業者・行政の三位一体により、改善策や輸送サービス内容等の検討を進めます。



2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

関連するSDGsのゴール



～心と体の豊かさを感じられるまちへ～

- 開校3年目を迎える「かめやま健康都市大学」の運営や健康マイレージアプリの活用、健都サポーターと連携したフレイルチェックの実施など、市民が健やかで心豊かに生活できる地域社会の実現に向け、健康都市政策を推進
- 地域福祉力の向上に向けた重層的支援体制の更なる充実など、地域における助け合い・支えあい活動を促進

健康づくりに関する意識の醸成と主体的な健康活動の促進

充実

健康都市大学創設・運営事業

(2,300千円)

健康に関する知識の習得と実践の場である「かめやま健康都市大学」において、主体的な健康活動の実践及び地域での健康活動の拡大を行う「健都サポーター」の更なる活発化につなげるため、総務省の地域力創造アドバイザー制度による人材を招聘するなど、市民のヘルスリテラシーの向上を図ります。



充実

アプリd eウェルネス推進事業

(5,200千円)

「歩く」ことを中心に市民の主体的な健康習慣づくりの定着に向け、一層の健康マイレージアプリや地域が作成したウォーキングマップの活用に取り組みとともに、市制施行20周年記念事業としてウォーキングの促進のためのイベントを開催します。



充実

高齢者の保健事業と介護予防の

一体的実施事業 (6,896千円)

健診・医療・介護等に関するデータを活用・分析し、健康上のリスクが高い方への個別支援や、高齢者の集まる機会を活用して医療専門職による健康教育等を行うほか、健都サポーターと連携し、東京大学高齢社会総合研究機構が開発したフレイルチェック等を各地域で実施することで、高齢者のヘルスリテラシーの向上や地域が主体となったフレイル予防の取組を支援します。

三重大学亀山地域医療学講座支援事業

(21,200千円)

滋賀医科大学スポーツ・運動器科学共同研究講座支援事業 (25,085千円)

三重大学及び滋賀医科大学との連携を通じて、市立医療センターにおける医師を確保することにより、公立病院としての基幹的機能の維持及び救急医療体制の確保を図り、地域医療体制の充実・強化につなげます。

地域福祉力向上重層的支援体制整備事業

(27,741千円)

相談支援包括化推進員(市)とCSWが共同して多機関協働を展開し、世代や属性を問わず包括的に相談を受け止められる支援体制や支援機関同士のネットワークづくりのほか、新たに「オンライン居場所」をスタートさせるなど、世代・属性を越えて交流できる場や居場所づくりなどを一体的に実施します。

予防接種費用助成事業 (15,613千円)

定期接種以外の予防接種に対する助成を行い、更なる予防接種の促進を図ります。なお、令和7年4月1日から定期接種化される带状疱疹ワクチンについては、制度変更への対応と周知期間の必要性を踏まえ、期接種の対象とならない50歳以上の市民へ接種費用を助成します。



3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

～活力のあるまちへ～



- 亀山ブランドの更なる推進や民間人材を活用した観光プロモーションの展開、亀山商工会議所と連携した創業セミナーの開催など、地域に根差した商工業・観光の活性化
- リニア中央新幹線三重県駅の誘致や鈴鹿亀山道路等の整備促進による広域交通網の強化と多様な産業集積の促進

地域資源を生かした商工業・観光の活性化

亀山ブランド推進事業 (2,399千円)

これまで認定した19事業者38品目を中心に、商品開発や販路拡大等の専門家による伴走型の支援や、市内外への戦略的な情報発信を行うことにより、生産者の生産意欲や販売意欲を高めるとともに、シビックプライドの醸成につなげます。



充実

観光プロモーション推進事業 (4,480千円) 地域活性化起業人の活用 (5,600千円)

亀山版グリーンツーリズムとして、修学旅行や企業研修など教育旅行の誘致に向けたモニターツアーを実施するとともに、本年4月から開催される大阪・関西万博において、県や亀山ブランド認定事業者等と連携した観光プロモーションを展開し、訪日外国人旅行者等の誘客を図ります。

創業支援事業 (5,265千円)

亀山商工会議所と連携した創業セミナーの開催や空き店舗等活用支援事業補助制度により、市内での創業を支援し、にぎわいのある商業地域の形成を進めます。



充実

ニホンザル等獣害対策事業 (27,425千円)

鳥獣被害防止対策推進協議会との連携やサル被害対策チーム「モンキーレンジャーズ」の活動を通じ、群れの特性に応じた被害対策に取り組むとともに、三重大学や三重県猟友会亀山支部と連携し、ニホンザルやニホンジカに加え、イノシシについてもGPSを活用した行動域の調査を実施し、被害リスクマップの作成を進めます。



広域交通網の強化と産業集積の促進

リニア中央新幹線整備促進事業 (1,288千円)

リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立事業 (10,000千円)

リニア中央新幹線三重県駅の実現に向け、官民一体となった誘致活動を展開します。また、リニア駅周辺の整備に充てるための計画的な財源確保を図ります。



鈴鹿亀山道路・国道1号関バイパスの整備促進 (道路橋梁一般事業 - 一般管理費) (490千円)

産業振興、災害時の道路機能強化等に資する地域高規格道路「鈴鹿亀山道路」や「国道1号関バイパス」の早期完成に向け、期成同盟会を通じて、県等との連携を更に深めながら、整備促進活動に取り組みます。

産業振興奨励事業 (253,545千円)

亀山市産業振興条例に基づき、本市に立地した奨励措置指定事業者8社に対し奨励金を交付するなど、多様な産業集積を図ります。

4. 子育てと子どもの成長を支える環境の充実

関連するSDGsのゴール



～豊かな子育てができるまちへ～

- 子ども未来部に設置した「こども家庭センター」を中心に、すべての妊産婦、子育て世帯及び子どもに対して一体的に相談支援を行うなど、切れ目のない子ども・子育て支援を実施
- 1人1台のタブレット端末の活用、不登校の児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実、経済的理由で家庭での学習環境が整いにくい児童生徒への学習支援等による個別最適な学びの推進と、中学校全員喫食制給食の実施に向けた環境整備や学校給食費等に係る保護者負担の軽減などによる子どもの成長を支える環境の充実

切れ目のない子ども・子育て支援体制の充実

子育て世代包括支援事業 (111,066千円)

妊娠初期から乳幼児期にわたり、母子健康手帳交付時に得た情報を基に、妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じるとともに、必要に応じて個別に支援プランを作成するなど、保健・医療・福祉・教育等の関係機関による切れ目のない支援を行います。

◆ 成育段階別の主な取組

- 妊娠期：母子健康手帳交付、妊婦健康診査、妊婦・パパママ教室等
- 出産・乳児期：産婦健康診査、産後ケア、赤ちゃん訪問、授乳相談、
新生児聴覚スクリーニング検査、育児相談、
1か月児・4か月児・10か月児健康診査等
- 幼児期：1歳6か月児・3歳児健康診査、歯科保健教室等



放課後児童クラブ事業 (238,967千円)

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後や夏休み、冬休み、春休みに適切な生活の場を提供します。

充実

学校給食費等に係る保護者負担の軽減 (21,209千円)

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和6年度に引き続き、保育所や小中学校等における給食費等に係る保護者負担の軽減を図ります。

個別最適な学びと不登校対策の推進

充実

個の学び支援事業 (小学校・中学校) (87,000千円)

特別に支援を要する児童生徒が安全・安心かつ自立した学校生活を送ることができるよう、介助員や看護師に加え、不登校の児童生徒への支援を行う校内教育支援センター支援員を配置します。

生活困窮者自立支援事業 (学習支援事業) (3,800千円)

家庭の経済状況によって子どもたちの学びに差が生じないように学習支援を行い、児童生徒の学習習慣の定着と基礎学力の確立、生徒の意思に沿った進学を支援します。



学びの環境の充実

完了

中学校全員喫食制給食実施事業 (232,201千円)

亀山中学校及び中部中学校における令和8年度早期からの民間調理委託による全員喫食制給食の実施に向け、中学校2校の給食受け入れ環境を整備します。

学校施設の老朽化に伴う改修等 (32,400千円) (小学校及び中学校における学校管理費-施設整備費)

小学校及び中学校における老朽化等への対応として、校舎等の施設整備を行います。

5. 市民力・地域力の活性化 関連するSDGsのゴール



～つながりと交流のあるまちへ～

- 地域まちづくり計画の更なる推進に向け、地域まちづくり協議会の活動を支援するとともに、市民活動団体やボランティア団体等の活動を支援する中間支援機能を構築
- 市制施行20周年を記念して「NHKのど自慢」などを開催

地域まちづくり協議会・市民活動団体等への支援

地域まちづくり協議会支援事業 (30,663千円)

地域まちづくり活動の更なる活性化に向け、地域活性化支援事業加算及び地域介護予防活動支援事業加算を継続し、地域予算制度による財政的支援を充実させるとともに、研修会等を通じて多様な世代の市民の参画を促進します。

◆地域予算制度による財政的支援【均等割人口割での交付額】	22,000千円
【地域活性化支援事業加算】	6,600千円
【地域介護予防活動支援事業加算】	400千円

新規 市民協働センター「みらい」への中間支援機能の構築 (9,012千円)

市民活動・ボランティア活動への支援を強化するため、亀山市社会福祉協議会と連携し、市民協働センター「みらい」へ中間支援機能を有した相談支援機関を新たに設置します。

市制施行20周年記念として実施する事業

新規 夏期巡回ラジオ体操の開催 (1,322千円)

市民の健康促進、体力向上やまちの活性化に向け、夏期巡回ラジオ体操を開催します。

新規 NHK公開番組「のど自慢」の開催 (603千円)

NHK公開番組「のど自慢」をNHKとの共催により開催し、市制施行20周年の機運醸成と市民交流の創出につなげます。



亀山市市制施行20周年

6. 行政経営



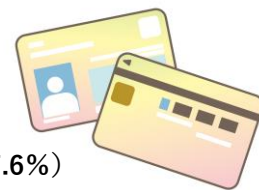
- マイナンバーカードを活用した行政サービスの利便性の向上や地方公共団体情報システム標準化への対応など行政DXを推進
- 新庁舎整備に向けた計画的な財源確保

行政DXによる市民サービスの向上

マイナンバーカード交付事業 (29,522千円)

本市におけるマイナンバーカードの保有枚数率が78.8%(※)となる中、出張申請受付等の申請機会の充実に努め、更なる普及促進に努めます。

(※令和7年1月末現在。三重県全体では77.6%)



証明書等コンビニ発行事業 (10,524千円)

マイナンバーカードを活用し、全国のコンビニエンスストアで住民票等の各種証明書を発行できるコンビニ交付サービスを継続し、市民の利便性の向上を図ります。

行政情報システム事業(住民情報系)

(321,413千円)

総合住民情報システム等の安定稼働を図るとともに、地方公共団体情報システム標準化に向けた移行作業を進めます。

庁舎建設基金積立事業 (100,000千円)

新庁舎整備に備え財源を確保するため、庁舎建設基金の計画的な積み立てを行います。

【参考】令和7年度当初予算における政策予算集計表（主要事業）

（単位：千円）

施策の大綱	主要事業の数	事業費	うち一般財源
1. 快適さを支える生活基盤の向上	40	3,061,586	731,877
	35	1,987,986	512,277
2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実	20	560,943	356,810
	18	498,756	303,672
3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上	11	354,391	325,340
	11	354,391	325,340
4. 子育てと子どもの成長を支える環境の充実	17	1,028,833	587,008
	17	1,028,833	587,008
5. 市民力・地域力の活性化	6	70,412	29,360
	6	70,412	29,360
6. 行政経営	5	542,497	329,873
	5	542,497	329,873
合 計	99	5,618,662	2,360,268
	92	4,482,875	2,087,530

（注）上段は全会計、下段は一般会計のみ